

# カトリック六甲教会 教会報

2007

6

No.426

## 6月の予定

		教会暦	教会行事
1	金	聖ユスチノ殉教者	初金 7:00 10:00 ミサ
3	日	三位一体の主日(祭日)	10:00 東ブロック合同堅信式 後、祝賀会と教会親睦会
5	火	聖ボニファチオ司教殉教者	
10	日	キリストの聖体 (両形態拝領)	7:00 9:00 ミサ(11:00 のミサはありません) 13:00 神戸地区大会(海星女子学院)
11	月	聖バルナバ使徒	
13	水	聖アントニオ(パドバ)司祭教会博士	
15	金	イエスのみ心(祭日)	7:00 10:00 ミサ 15:00 聖体讃美式
16	土	聖母のみ心	10:00 祈りの道場(生徒研修所) 15:00 ミサ(教会)
17	日	年間第 11 主日	17:00 集会祭儀(海星病院)
18	月		14:00 三日月会 ミサと例会
21	木	聖アロジ・オ・ゴンザガ修道者	
23	土		14:30 教会学校ホールミサ
24	日	洗礼者聖ヨハネの誕生 聖ペトロ使徒座への献金	17:00 集会祭儀(海星病院)
25	月		11:00 ベビーとママの集い
28	木	聖イレネオ司教殉教者	
29	金	聖ペトロ 聖パウロ使徒(祭日)	
30	土		13:30 典礼奉仕者の集い

## イスラエル巡礼

4月11日より21日にかけてイスラエル巡礼に出掛ける機会に恵まれました。今回の巡礼は「祈りと黙想の旅」というタイトルで企画されました。この旅は色々のハプニングがありましたが、その都度無事に解決へと恵まれ、本当に神様の導きとお恵みを痛切に感じた旅でした。

先ずガイドの河谷さんが1月末、説明会に神戸まで来て下さいました。河谷さんの「イスラエルはイエスの生まれた所、生活した所。

山も湖も空気も風も、イエスが触れたものと言えます。ですから何回行っても私には親しみを感じます」の説明に、希望者が増え、当初予定の20数名が42名と倍近くになりました。その結果、河谷さんは予約変更でどれほど苦労されたことが、まずそれを感謝しなければならぬと思います。

日本からイスラエルに行く道は、普通ヨーロッパ経由で行きますが、今回は南廻りでカタールのドーハに飛び、ヨルダンのアンマン

経由でバスで国境を越えてイスラエルに入るといふコースが決まりました。問題はその国境を通るのが難しいとすることでした。「万一通過の許可が下りなかったら、夜中でも再びアンマンに戻らなければなりません。」検問所についた時、厳しい顔をしていたらテロと疑われるかもしれないからこっと笑顔を示して下さい、とも言われました。私はこれらの冗談とも真実とも聞こえる話にただ祈るばかりでした。午後9時ごろに検問所に到着して、河谷さんは係の人とヘブライ語で話し合った後、荷物は全部降ろされ、幸いパスポート提出の検査だけでOKということになりました。それでも全ての手続きが終わったのは10時ごろだったと思います。私たちはほっとして、ただ感謝の祈りをするのみでした。しかも次に待機していた観光バスは通過できませんでした。このようにして、夜遅くイスラエルのガリラヤ湖畔にあるホテルに無事到着

することができました。これは旅行の最初の一步という話です。

私たちは今回の巡礼で色々のハプニングを体験しました。例えばガリラヤ湖に船を浮かべ、船上でミサを奉げる予定でしたが、私のミスでブドウ酒を忘れ不可能となり、仕方なく港に帰り、ホテルのロビーで味気なくミサをたてました。また、ローマに抵抗するユダヤ軍の城砦であったマツサダの遺跡では、石だらけの遺跡を歩くのは大変だからここで休んでいると言われた80歳の方が、すぐに見つかりましたが一時行方不明となり大騒ぎとなったこともありました。

しかし全体としては何事も無事に解決され、結果的には大きな事故もなく巡礼を、それも本当に実り豊かな巡礼ができましたことを神様に感謝しながら、思い出の一端をまとめた次第です。

安芸瑛一神父

---

---

## 各 部 会 だ よ り

### 👩 婦人会

5/18(金) 婦人会遠足がありました。新緑の美しさ、爽やかな風、お堀端のカモやアヒル、安芸神父様の心に沁みる説教、握手で表す平和の挨拶、昼食のおもてなしなど色々ありました。心休まる一日となりましたか？

6/3(日) 東ブロック合同堅信式があります。堅信の秘跡を受けられます方々に心よりお喜び申し上げます。

堅信式祝賀会に500人ほどのお客様をお迎え致します。婦人会総出で、心を込めてお客様をお迎えしたいと思います。

婦人会の皆様のお手伝い大変心強く、ご協力に心より感謝致します。

#### 【予定】

6/1(金) 初金 10:00 ミサ

6/3(日) 東ブロック合同堅信式 10:00~ミサ  
12:00~祝賀会

6/15(金) イエスの御心 10:00 ミサ  
ミサ後~15時 聖体顕示

### 【聖堂当番表】

1日(金) 東1・2・3

9日(土) 午前 3班

17日(日) ミサ後 4班

22日(金) 東4・5、西1

### 👩 三日月会

6月18日(月) 例会 14時からミサ

その後、杉本師による「ローマ教会の女性の地位」ビデオ鑑賞

三日月会喫茶コーナー

6月3日は、合同堅信式のため休みます。

### 👩 教会学校

2日(土) 通常クラス

9日(土) 通常クラス

10日(日) 地区大会

教会で集合して行きます。詳細は Jesus Kids をご覧下さい。

16日(土) 通常クラス

23日(土) ホールミサ  
30日(土) お休み(第5土曜日のため)

### 👉社会活動部

連絡会はお休みです。  
第2回連絡会 7月6日(金) 初金ミサ後

### 👉典礼部

東ブロック合同「聖体奉仕者の研修会」  
日時：7月1日(日) 14時~16時  
場所：神戸中央教会  
指導：シリロ神父様(講話と分ち合い)  
「典礼奉仕者の集い」の翌日ですが、聖体奉仕者の方はご参加よろしくお願いたします。

---

## <お知らせ>

### 【社会活動部より】

#### 6/6(水) 10:00~ 手芸の集い(第1・2会議室)

参加自由。お気軽にご参加下さい。

原則として第1水曜日

#### 6/9(土) 10:00~ 炊き出し(イグナチオお台所)

小野浜グランドにて配食や、おじさん達とのお話し相手だけでもOKです。

毎月第2土曜日

#### 6/17(日) 9:00 ミサ後 手作りコーナー(イグナチオホール)

第3日曜日9時ミサ後

お弁当・食品。小物販売

#### 6/22(金) 14:00~ おにぎり作り(イグナチオお台所)

須磨方面夜回り支援

---

## 祈りと聖歌

「どうしてキリスト教では良く歌うのだろう?」、古い喩えの「歌う人は倍祈るとは何の意味だろう?」とか、「ええっ歌も祈り?」とか、疑問に思った方はないでしょうか。

祈りには、マタイ6章にあるように一人で祈る「奥まった自分の部屋に入って祈る」祈りと、18章にあるように「心を一つにして求めるなら...天の父はかなえてくださる」何人かがともに祈る祈りがあります。ミサはともに祈るためにキリストが命をかけて残して下さった祈りの場です。

心をひとつにして祈るには、歌がとても良い方法であることは先人の知恵でしょう。カラオケで誰かが歌っているとき次の順番の人は「何を歌おう」と歌など聴いていません。終わったら義理に拍手してマイクに手を伸ばします。しかし、聖歌はともに祈るときの合唱です。合唱は心をひとつにしなれば成り立ちません。合唱曲である聖歌を聴きながら、客席で観衆になっている人は一緒に祈りに参加していないといえるでしょう。

ミサの中で歌声がそろわなかったり、消えそうな歌声では寂しい気がします。豊かなミサであるために、聖歌は祈りであることを確認して、ともに祈る祈りを大切に一緒に少しの時間練習しましょう。聖歌の練習の時は是非ご協力をお願いします。

(典礼部)

## 初聖体、祝福式（4月15日）

はつせい体をうけた時は、うれしかったです。ごせい体をいただくときは、どきどきしました。なぜかって、「あじがしない」っておかあさんが言ってたけどあじがしないってどんなのか、わからなかったからです。これからミサへ行くときも、ホールミサのときも、ごせい体をいただいて、もっとかみさまもことをしりたいです。  
(幼きテレジア きくち)

今日、わたしは、はつせいたいについてふりかえってみました。うれしかったことは、お母さまが作ってくれたかみかざりをつけて白いドレスをきることでした。まるでけっこんしきのようにだったので、うれしかったです。イエスさまのお体をいただきパワーがでてくるような気がしました。

しんじやってとてもすてきだな、と思いました。  
(マリア 吉村)

わたしが教会学校へいくようになって三年になります。さいしょ友だちといっしょにいていましたが、やめてしまいました。祝ふく式は三年生になったらうけられるものです。それまで、かみさまについていろんなべんきょうをしてきました。それで、かみさまはいつも心の中にいらっしゃるかたということがわかりました。しゅくふくしきのほんばんでは、とてもきんちょうしました。きれいなベールをおかあさんにつくってもらい、それをほんばんがかぶりしました。そして、みんなにいわっていただいてとてもうれしかったです。これからも教会学校にかよっていきたいとおもいます。よろしくおねがいします。  
(かとう)

おみどうに入ったとき、たくさんの人にビックリしました。ミサがはじまって、赤いじゅうたんのうえを歩いたとき、すぐきんちょうしました。ロウソクに火をつけてもらうとき、わたしの手にロウがおちてちょっとあつかったけど、そのあとはだいじょうぶでした。2年生になってかみ様のおべん強をいっぱいしてきて、いろんな知らなかったことを知りました。しゅくふくがもらえてすごうれしかったです。かみさま、しん父様、リーダー、教会の方がた、ありがとうございました。

(江見)

娘は、教会学校から帰ってくると、その日どんなお勉強をしたかを報告してくれます。習った歌も姉妹でいつも歌ってくれます。

2年生になり、幼い頃に学んだ「かみさま」よりもっと深い意味のある「神」を学んでいるという自覚が本人に出てきたようです。

「御心にかなう者」になるための第一歩を踏み出した日だと思っています。この日まで献身的にお導き下さいました、神父様、リーダーの方々、教会信者の方々に心よりお礼を申し上げます。

(保護者：江見)



やわらかい、春の陽射しが心地よい4月15日、三年生は初聖体と祝福を授けていただきました。白衣の天使達はとても可愛らしく、またいつもにも増して、堂々と、頼もしく見えました。普段はやんちゃな息子ですが、この日は真剣に心をひとつにして、真直ぐ神様に向かい、手を合わせており、その姿はいままで見たことのない心に残るものでした。

思えば幼稚園の時から、自然と生活の中に「お祈り」があり、今も教会学校に通わせていただき、神様を感じながらの生活。今回は、母としてのこれまでの道のりを見つめ直す機会と、私達の心の中にいつもいてくださる神様について考える機会を与えていただいたように思います。これまで子供達をご指導くださり、今日の日にお導きくださった、神父様をはじめ、リーダーの皆様感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。またパーティでは、お母様方の心のこもった手作りの美味しい、美しい料理をたくさんいただき、幸せな気持ちいっぱいの親子でした。たくさんの方々に温かく見守っていただいていることに深く感謝しております。

これからも、息子の心の中には、いつも神様がいてくださると信じております。この日の「祈る姿」は忘れられません。  
(保護者：石川)

初聖体を無事、終えることができたことを、教会の皆様心より感謝いたします。

この度は、洗礼を受けることができましたこと、初聖体を迎えることができましたこと、二重の喜びを感じることができ、幸せに思っております。初聖体の準備をしている娘の姿は、本当に希望に満ちあふれ輝いておりました。本当は少し緊張をしておりましたけれども、とても嬉しそうにしている笑顔は、神様と共に歩む喜びを心から感じている姿であると強く感じました。これからも皆様と共に神様の祝福に満たされます様に、娘と共に祈ってゆきたいと思っております。この度は本当にありがとうございました。  
(保護者：マリア カタリナ 久保)

-----

## 聖体奉仕者黙想会の感想(5月6日)

病床訪問聖体奉仕者として初めて任命頂いた私は、大切なご奉仕の最初の一步からを学ばせて頂こうと、今回の集いに参加させて頂きました。資料のプリントがあって、使徒職の学びや大事な心得を教えて頂く研修を想像致しておりましたが、オマリー神父様の開口一番は、「今日は黙想会です」でした。

祈りの心で、ルカ福音書1章26～38節が読まれ、神父様から、聖霊に満たされることについて黙想への導きを頂きました。「主のからだです」という奉仕は、その所作ではなく奉仕者の全存在からの信仰宣言でなければならない。受ける方が心から「アーメン」という応答が出来、共に主の前に進めるように。お話しの後、静かな黙想の中で、果たして私自身「主のからだです」と心からの信仰宣言が出来るだろうかと真剣に顧みると共に、こんな至らぬ者にも聖霊のお導きをと切に祈りました。

後半の黙想は『マリアの賛歌』の箇所が中心でした。“はしために目を留める”“力ある方が偉大なことをなさり”“その憐れみは代々限りなく主を畏れる者に及ぶ” このマリアの賛歌の中に『大昔から約束された神様の恵み』が現わされていること、イエス様は完全な人間のためにだけ聖体を用意されたのではなく、“主のはしためです”とへりくだる弱い者に用意下さる方。だから、聖体奉仕者の役目は、聖体を配ることで主の約束の実現の一端を担うことになる。典礼を美しく、と思うあまり完全主義に陥ってはならない。完全でない者を主は憐れみ、聖霊によって神秘的な役目を実現させて下さる。

使徒職についてのオマリー神父様のお言葉ひとつ一つを黙想し、これからは至らない私ですが、聖霊の導きの中で一生懸命つとめさせて頂きたいと思っております。  
(神戸中央教会 島田)

## 国際協力の日（5月20日）

玉造教会で“国際協力の日”（カトリック大阪大司教区主催）のイベントがあり、船井壮年会副会長と川合の二人が六甲教会を代表し出席参加してきました。

9時集合、テント張りの手伝い、受付での手伝いを担当し、11時からのミサにあずかりました。約1500名の大規模ミサでした。韓国・フィリピン・ベトナム・台湾・ブラジル・ペルーなどなどの外国の人達そして日本人。ミサ中のお祈りの一部では、日本語・英語・韓国語・中国語・スペイン語で唱えられました。奉納では、韓国の人達が統一朝鮮半島の大きな絵を、ベトナムの16人の少女達が奉納の踊り(舞)を捧げました。線香を手に持ち床に平伏し奉納する踊り。駐在時代バンコクでよく目にした仏様を拝むしぐさと同じで、東南アジアの生活スタイルだなあと微笑ましく見ておりました。

12時30分から教会裏の越中公園で交流会でした。24張のテントに48店の店が出て料理もペルー、タイ、韓国、フィリピン、ベトナム、メキシコ、ブラジル、日本などなど大変国際色豊かでした。大きな舞台では、タイ舞踊、インドネシア舞踊、韓国舞踊・伝統打楽、パラグアイの歌と踊り、ゴスペルそしてバンド演奏が数々。フィリピン・バンドではトゥイスト・ゴーゴのオンパレードで盛り上がりました。松浦悟郎司教の4人兄弟によるバンド演奏がありビートルズの歌シリーズで大うけでした。フィリピンの若い人達が舞台下で楽しく踊っていました。まだまだ封建的で閉鎖的な六甲教会では、あり得ない光景だなと思いながら見ておりました。

池長大司教にもご挨拶し、焼きそばを立ち食いしながらお話しができました。大司教も本当に良いミサであったと言っておられました。ベトナムの女の子達による奉納の踊りにも感銘されたようでした。高山神父にもミサ前、聖堂入り口でお会いできました。

“外国人が暮らしやすい社会は日本人にも暮らしやすい”がキーワードでした。六甲教会も結構外国の方達も多いと思いますが、日頃そんなに国際的とは感じられません。外国の方々にも目が配られる六甲教会にしたいものです。そんなことを二人で話しながら電車に揺られ帰ってきた次第です。

（川合）

---

## たかとり教会の献堂式に参加して（5月26日）

12年前の震災で全壊したあと、たかとり教会は地域の救援基地となり「この街が復興し、人々がもどるまでは教会の再建はしません」という神田神父さまと信徒の方々の固い決意で今日まで不自由な生活の中で祈り、街の復興のために働いてこられました。

それだけに今日の献堂式をたかとり教会の人たちはどんなに待ち焦がれておられたことでしょうか。ほんとうに心から「おめでとうございます」を言いたくて参加いたしました。

少し早目に行って内部をゆっくり見せていただきました。まず聖堂の床は円形で外観はとんがり帽子のてっぺんをちょん切ったような形で、明かり採りのスリットが立てに並びそこから入った太陽の光が内張りの白いテントを通してやわらかく聖堂全体を包んでいます。

中央の祭壇は長野県「南木曾（なぎそ）町」から運ばれた巨大なヒノキの切り株がそのまま使われています。壁面にはあのペーパードームのときと同じような紙管が細かく張られており、やさしい雰囲気を作っています。円弧状につながった椅子は不思議な形をしていて、1つつつ切りはなすことが出来ます。あちこちにとても素敵な気配りと工夫がありました。



震災を免れたあのイエスさまのご像は中庭に戻って立派に建っていました。

ごミサは池長大司教さまほか 11 名の神父様が捧げてくださいました。その中に高山神父さまのお姿もあり、大勢のベトナムの人々のお世話をされていました。

とても感動したのはごミサの中で献堂の祈りとして捧げられたベトナムの人たちによるマリアさまへの賛歌と踊りでした。民族音楽風の聖歌にあわせて、アオザイを纏った小さな女の子のグループ、民族衣装の男の子のグループが可愛く、最後に若い女性のグループもお揃いのアオザイ姿でとてもエレガントに祭壇の周りを祈りながら踊りました。

竣工式では施主、施工業者に続いて地区の「まちづくり協議会」代表や「南木曾町役場」の堀課長さんのご挨拶があり、たくさんの方々の協力で再建できたことがわかりました。

式の最後にみんなで「ただいま～！！」と唱和し、にぎやかに閉祭したのが印象的でした。

(鈴木)



## 📖 図書紹介 「銀の口バ」

ソーニャ・ハートネット著  
主婦の友社

森で、幼い姉妹は倒れている男を見つけます。男は脱走兵で視力を失っており、手には銀色に輝く口バが握られていました。彼が、重病の弟に会いに故国に帰ろうとして来たのを知って、姉妹は何とか助けようとし、普段は口喧嘩ばかりしている兄や、足が悪い為に兵役にもつけない若者も協力することになります。

折にふれ、彼は口バにまつわる話をします。キリスト生誕の時にマリアを助けたベツレヘムの老いた口バや、空に雨乞いをする口バの話。さらに、担架兵と共に多くの傷病兵を救った実話に基づいた口バ。最後は、彼が純銀の口バを持つに至ったいきさつで、話を聞かたびに子供達は、其々に、精一杯生きていこうとする意欲をふくらませ、兵士は子供達に出会ったことで希望を得、

視力も戻ってきます。末妹が自分で、「希望」を掘り当てる最後の場面が晴れやかです。

300万人の戦死者が出たと言われる第一次大戦の西部戦線を背景としたこの物語は戦争の残酷さと虚しさを描く一方、命がもつ生き生きとした躍動感を子供や家畜の描写をとおして伝えます。幸運を運んでくれると兵士が「信じる」銀の口バ。華々しく活躍する存在ではなく、無欲に、黙々と重荷を運びながら勇敢な行いを果たしていく口バ。読み終わって、私も口バに乗せてきてもらったという思いに行き当たり、胸が熱くなりました。

「私の口バベンジャミン」(こぐま社)「第八森のこどもたち」(福音館書店)と共に、軍靴の音が聞こえつつある昨今、大切にしたい一冊です。  
(塚崎)

## ～ お 知 ら せ ～

桜井神父はパウロ神父の後任として、この6月より、神戸地区11教会の地区長に任命されました。司祭減少が目に見える形になってきた証拠ですね。各司祭は第2水曜日・神戸地区司祭修道者の会合、第4水曜日・大阪教区の月修に出席しますが、地区長は第1日曜日・神戸地区宣教司牧評議会、第3水曜日・教区の司祭評議会、不定期に地区準備会（役員会）や教区代表者会議に出席することになります。その他、神戸地区全体のために奉仕する機会も増えることでしょう。

各教会が信徒中心に励まし合い、典礼や信仰入門の勉強会を担当し、多くの人々の救いの場として成長出来るようにご一緒に祈りましょう。信徒の方々が積極的・建設的に役割を担うところに希望があると信じています。

（桜井彦孝神父）

<p>教会報月7月号の発行は、7月1日(日)です。 編集会議は6月24日(日)です。 記事原稿は、6月17日(日)正午までに信徒会館事務室へご提出願います。 (広報部)</p> <p><a href="http://www.rokko-catholic.jp">http://www.rokko-catholic.jp</a></p>	<p>カ ト リ ッ ク 六 甲 教 会 〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21 電 話 0 7 8 - 8 5 1 - 2 8 4 6 発行責任者 桜 井 彦 孝 神 父 編 集 広 報 部</p>
---	--